

伊東市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和5年4月17日（月曜日）午後2時～午後4時
- 2 場 所 伊東市役所高層棟5階中会議室
- 3 出席者 教育長 高橋 雄幸 委 員 村上 恵宏
委 員 沼田 芳美 委 員 遠山 泰範
委 員 辻 恵
- 4 参 与 教育部長 浜野 義則 次長兼教育総務課長 杉山 宏生
教育指導課長 関野 耕一 幼児教育課長 鈴木 慎一
生涯学習課長 山下 匡弘
- 5 事務局 教育総務課課長補佐 二宮 悠 主事 松岡 翔太
- 6 会議の経過

高橋教育長：議事に入る前に、令和5年4月1日付け人事異動により、教育委員会に転入した職員の紹介を行う。

（事務局から報告）

高橋教育長：それでは、ただ今から伊東市教育委員会4月定例会を開会する。
議事に先立ち事務局から報告を行う。

（事務局から出欠報告及び資料確認）

高橋教育長：それでは議事に入る。始めに、令和4年8月から11月までの定例会会議録の確認を行う。修正点等はあるか。

（意見なし）

高橋教育長：会議録を原案どおり承認してよろしいか。

（異議なし）

高橋教育長：承認が得られたので、令和4年8月から11月までの定例会会議録は原案どおり決定する。会議録の署名は村上委員にお願いする。次に、教育

長報告を行う。4月定例会教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

3月24日 政策会議

27日 青少年指導者級別認定講座修了証授与式、
中央区立宇佐美学園校長来庁、伊豆介護センター訪問、
伊豆伊東高校定時制後援会会長来庁

28日 「伊東市小学生の船」東京都大島町の関係者訪問

29日 行政区長との懇談会

30日 伊東小放課後児童クラブ施設訪問、
「こども110番の店」活動PR品寄贈（自動車整備振興会）、
「ひかりを灯すしま」本の寄贈（河原氏）

31日 退職者発令式、退職校長感謝状贈呈式、保育園関係職員発令式

4月 3日 人事異動発令式、政策会議、副市長選任発令式、
小中学校新規採用教職員研修会

4日 保育園園長会、教育事業3団体事務局来庁、
静岡県人事委員会役員来庁

5日 園長・校長会、静岡県市町教育長会

6日 県立伊豆伊東高等学校開校式、伊東小学校学校旗授与式

7日 宇佐美小学校入学式

9日 オール伊豆社会人ソフトボール大会開会式、
杢太郎記念館展示会見学

10日 静岡県議会議員当選証書付与式、教職員組合東豆支部役員来庁、
伊東小放課後児童クラブ開所式

11日 静東地区教育長会

12日 伊東警察署長訪問、市立図書館訪問

13日 課長会議（観光経済、市民、教育、総務）

14日 課長会議（上下水道、企画・議会、建設、危機管理、健康福祉）

16日 第14回山頭火まつり

17日 教育委員会定例会、女性連盟総会

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

高橋教育長：次に、各委員からの報告をお願いします。

委員：南中学校、南小学校、伊東小学校と3校の入学式に出席させていただきました。南中学校は落ち着いた雰囲気でもとてもいい入学式だった。卒業式から少ししか経っていないが、子どもたちの顔がとても大人っぽく見えた。これからの生活に希望を持ち、式に参加しているように思えた。校長先生の話もPTA会長さんの話も、これからの生活で大事にしたいことに触れ、とても分かりやすかった。生徒のマスクは、自由ということになっていたそうだが、ほぼ全員がマスクをしていた。人数制限をしなくなった保護者も皆さんマスクを着けておられた。南小学校や伊東小学校は、幼稚園の延長のような感じで、校長先生やPTA会長さんの話に、はいとか、ありがとうございますとか、反応がすごくあって、とてもかわいかった。その雰囲気がとても会場を和ませて、とても良い雰囲気でした。南小学校は、ほとんどの子がマスクをしていたが、伊東小学校では、マスクをしていない子が多くいた。南小では、校長先生が人形や絵を使ってお話をし、伊東小では、合言葉を使って、1年生が分かりやすい言葉を選んで話されていた。伊東小学校では、仕事がたくさん増え、大変で忙しそうだなと感じた。校長先生はじめ諸先生方、3校分の対応で、仕事が多くなっているだろうと思った。

委員：私は門野中学校の入学式に出席させていただいた。78名の生徒が入学

しました。率直な第一印象として、子どもが少なくなったというのが感想でした。マスクの着用は、体育館に入場時は取っていいという指示が出ていたのか、ほとんどの生徒が取っていたが、中には着用している子もいた。着席してから、全員着用していた。PTA会長さんの祝辞がとてもよかった。これから反抗期、思春期を迎える中、将来、進学や就職で伊東を出ていくこともある中、子どもとぶつかることも多くなるが、一緒にいられる時間を大切にしたいという話があった。式後に校長先生や区長さんと話をさせていただいたが、地域の行事をまたやりたいという話になった。地域の夏祭りも3年やっていない状態なので、地域の子どもたちが集まれるようにしたいと話していた。また、富戸小学校の入学式にも出席させていただいた。6名の入学児童さんがいらっしやった。人数は少ないが、話を聞く姿勢は素晴らしかった。また、校長先生の話がとても分かりやすく、アットホームな雰囲気を感じられた。

委員：私は、北中学校と池小学校、伊東小学校の入学式に出席させていただいた。まず、北中学校は、生徒が少ない中、落ち着いた雰囲気だった。PTA会長さんも校長先生も、まとまりということを強調しながらお話くださっていた。式後に校長先生と話をする中で、送迎の話題を気にされていた。駐車場が職員の車でいっぱいになってしまい、何かで送迎があったときは、駐車場が使えない状況になっているということだった。PTA会長さんが、近くで空いている土地があるらしいですよ、とも話をしていたが、その駐車場の話題が少し印象的だった。また、地域のお祭りについても話題が上がっていた。池小学校は入学者が13名だったが、地域のまとまりを感じられる式でした。代わって伊東小学校は、人数が多く、すごいなという感想を持った。やはり子どもたちの反応がすごく印象的でした。規模が大きくなったことから、これまでと違う部分も出て来るかと思うので、その点を見守っていききたい。

委員：コロナも落ち着いてきたので、久々に入学式に出席させていただいた。

対島中学校、八幡野小学校の入学式に出席をさせていただいた。小学校の入学式では、校長先生が他の先生と寸劇をされて、挨拶をされていたのは、すごくわかりやすいと感じました。それから、先ほどの市長との懇談会の際にも、人口減少対策として、移住者、Uターン者支援を伊東市として行っていて、PRと効果の話が出ていた。小学校は統廃合が良い形に進めばいいと思うが、統廃合の歯止めをしたいと思っても、なかなか厳しい現状だと思う。北中学校の卒業式で、区長さんが北中学校はどうなるのかと話されていたが、対島中学校も、対島地区は意外と人口減少が少ない中、近年1学年3クラスだったのが、今年は2クラスになったとのことだった。門野中学校も生徒が減ったという話があったが、中学校もある程度、検討をしなければならない課題だと感じました。

高橋教育長：私は宇佐美小学校の入学式に出席した。入学生の親に、自分が宇佐美中で教頭をやっていたときの教え子を数名見かけ、時代を感じた。宇佐美小は、女の子が多くいるように感じたが、子どもの減少が続く中、例えば富戸小では、学年6人のうち、女1人男5人というケースもあり得るだろう。そうした面で、やはり2クラス、クラス替えができる規模は必要なのではないかと感じた。少人数で和やかな雰囲気も良いが、子どもの教育環境を考えたときに、クラス替えをできる規模が、伊東市にとって重要なことだと感じさせていただいた。

委員：北中学校の校長先生と話をする中で、北中学校もクラス数の関係で、先生の数がギリギリになってきており、講師の先生を頼むにしても、講師の先生もなかなか見つからず、苦勞をされているとのことだった。伊東市内で見つからず、遠いと富士市の方にも声を掛けたとのことだった。学校規模と先生の配置面からも考えていかなければならないと思いました。

高橋教育長：伊東小学校は3校が統合し、始まったばかりなので、何か地域の情報があれば、教えていただけたらと思う。ある程度はスタートできたと思うが、やっていくうちにいろいろと出てくると思うので、修正できるところは修正していきたい。よろしくお願いします。

高橋教育長：それでは、議題に入る。始めに、議決事項、教選第1号「伊東市公民館運営審議会委員 兼 社会教育委員の委嘱について」を議題とする。

（山下生涯学習課長から資料に沿って説明）

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

高橋教育長：それでは、この件について確認する。教選第1号「伊東市公民館運営審議会委員 兼 社会教育委員の委嘱について」は、原案どおり承認してよろしいか。

（異議なし）

高橋教育長：委員の皆様から承認が得られたので、教選第1号については原案どおり決定した。以上で議決事項を終了する。次に、報告事項に入る。教報第1号「令和5年度教育指導課指導の重点について」を議題とする。

（関野教育指導課長から資料に沿って説明）

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：私自身の思いになるが、このグランドデザインの一番の根底にあるものとして、職員の姿、人間関係が大事だと思う。例えば、先生の一人一人の特技を大切にすることや、笑顔のある職員室など、いい人間関係があつてこそ教育力が上がるのではないかと思う。そういった先生間の人間関係を構築して欲しいと思う。

関野教育指導課長：今委員おっしゃるとおり、子どもたちは、先生の表情を見

て、学校の雰囲気を感じ取っているので、先生方が笑顔でないと、良い教育ができないと思う。教育指導課としては、心に余裕がある職場ということで、働き方改革にも力を入れつつ、コロナ禍で疎遠になりがちだった教職員同士の繋がりも、今後注視してやっていきたい。

高橋教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：以上で報告事項を終了する。次に、その他「常任福祉文教員会協議会の報告について」を議題とする。

(**杉山次長兼教育総務課長**から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：北中学校の卒業式のときに、校長先生やPTA会長さんもおっしゃっていたが、水が出ているらしいが、計画については影響ないのか。

杉山次長兼教育総務課長：おそらく、図面下側のグラウンドの方からの斜面について言っておられたのかと思うが、裏側に古いテニスコートに向かう道があり、そこに側溝があるものですから、その湧水についておっしゃっているのかと思う。工事自体には特段、影響はないかと思うが、グラウンド外周を工事車両が進入するものですから、注意をしながら工事を進めていきたい。

高橋教育長：子どもたちがいない時期に工事をするのかと思うが、音が出ると思う。近隣に民家もあるが、その辺の説明はどのようなになっているのか。

杉山次長兼教育総務課長：工事入札で業者が決まり次第、改めて近隣住民には説明をしていく。事前の予備的な調査では、それほど大きく影響する距離にはないと伺っている。

(**山下生涯学習課長**から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

高橋教育長：よく聞かれるのは、図書館が大体いくらぐらいできるのかという質問が多いが、教育委員の共通理解として、概算についてお答えいただきたい。

山下生涯学習課長：今年度予算が５億円、６年度が３２億円、合計３７億円となり、先行した土地取得が２億円のため、３９億円となっている。

高橋教育長：これは聞かれた際に表出しをしてよいか。

山下生涯学習課長：議会で、総工費を回答しており、令和６年度予算についても債務負担行為を設定しているので、問題ないかと思う。

高橋教育長：聞かれたら大体４０億円程度かかるということで。

杉山次長兼教育総務課長：福祉文教委員会でお答えしているので、お答えいただき問題はない。

高橋教育長：金額はかかるが、楽しみにしている市民の方も多いので、全力で取り組んでまいりたい。

委員：補助金を使うと言っていましたよね。

山下生涯学習課長：補助金の関係は、２か年度で１５億円ほどとなる。今回、その一部として、事業費４億４８００万円の半分、２億２０００万円程度が補助金として採択されている。

高橋教育長：最終的には十何億だと思うが、補助金が出ることが決定しているので、ご承知おき願いたい。

高橋教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

高橋教育長：次に、「令和５年度伊東市教育委員会の組織機構等について」を議題とする。

（**浜野教育部長**から資料に沿って説明）

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：次に、「令和5年度小中学校、幼稚園・保育園一覧表について」を議題とする。

(関野教育指導課長、鈴木幼児教育課長から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：次に、「令和5年度児童・生徒・園児数について」を議題とする。

(関野教育指導課長、鈴木幼児教育課長から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：次に、「第1回課長会議の報告」を議題とする。

(各課長から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：幼児教育課のデリバリー給食、八幡野幼稚園の給食開始について、デリバリー給食の費用や八幡野幼稚園の給食費はどの程度の金額、回数なのか。

鈴木幼児教育課長：まず、デリバリー給食については、昨年度は1食500円配送料込みでやっていたが、年度末に保護者対象のアンケートをとり、子どもの弁当には高いという意見、アンケートの中でも、6割方が400円以内という回答をいただきました。本年度は1食400円で、子どもたちも残してしまう方がいらしたので、容器をコンパクトにし、中身も改良を重ねて実施する。ですから3、4歳で申し込んだ子は1食400円のお弁当代をいただくという格好になる。次に、八幡野幼稚園の給食費については、検討の途中であるが、保育園は大体、牛乳代を込み、おやつ代を引き、1食260円計算となっている。これはデリバリー給食と異なり、人件費や光熱水費が学校給食と同様に含

まれていないので、単純に食材のお金となっている。八幡野幼稚園では、学校と同じように食材にかかる費用を給食費としていただく格好になる。4月から専属の栄養士を雇用したので、1食260円をベースに、昨今の物価高騰も加味して計算をしているところである。最後に、給食の回数については、デリバリー給食は引き続き月金の週2回。八幡野幼稚園の給食は、小学校と同じように、毎週月曜から金曜までの週5回、ただし幼稚園は、第2第4水曜日がお弁当なしとしているので、この第2第4水曜日は給食を実施せず、大体年間150回の提供となる。

高橋教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：委員が仕事で退席されるとのことで、先に今後の日程について確認する。

事務局：5月の定例会については、5月22日（月曜日）午後2時30分を予定している。6月の定例会については、6月23日（金曜日）を予定とする。

高橋教育長：次に、「各課報告について」を議題とする。

杉山次長兼教育総務課長：教育総務課からは、先ほど教育長室で話題が出たスクールバスについて報告しようと思ったが、かなりお話しされていたので、基本的には、今週までは見守り要員がバスの中に乗っているが、来週からは見守り要員は各バス停に張り付き、バスの中はバス運転手だけの運行となる。そういった形になるので、また何かお気づきの点があれば、教育総務課に言っていただければと思う。

関野教育指導課長：生徒指導について報告する。年間をまとめた資料をお配りしている。まず、問題行動についてだが、一昨年度と比較すると増加しているが、昨年度と比較すると減少している。種別に見ていくと、児童生徒間暴力や

粗暴行為が多くなっている。個々に応じた細かな支援の充実と、日常の道德教育や学校行事を通して周囲の気持ちを考えた行動ができるようにしていきたい。続いて、いじめの認知件数だが、こちらも昨年度に比べると減少しているが、一昨年度等と比べるとまだかなり多い件数となっている。少しでも余計な干渉をされている場合は、認知としていることが原因の一つである。今後も、軽度なものは一定期間を経過するまで聞き取りを継続し解消、それ以外のものは時間の経過だけで解消とせず総合的に判断した上で、丁寧な対応を心がけていきたい。最後に、不登校について、全国的にも増加傾向となるなか、本市は全国平均より高い状況が続いている。新規の不登校者数を増やさないよう、日ごろの見守りを十分に行うことを推進していく。また、授業や学校生活が魅力的なものとなるよう、校内研修の充実や教育課程編成の工夫を積極的に行っていく。ここ数年、新型コロナウイルス感染症によって学校や家庭における生活や環境が大きく変化し、子どもたちの行動に大きな影響を与えていることが伺える。人と人との距離が広がる中、不安や悩みを相談できない子どもたちがいる可能性がある。不安や悩みが従来と違う形で現れていたり、1人で抱え込んだりする可能性があることを考慮し、組織的に、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの関係機関と連携し、相談体制の充実を推進していきたい。

鈴木幼児教育課長：先ほどの課長会議の報告でも触れたが、幼稚園保育園の現場職員から5人5人の計10人のワーキンググループ組織を立ち上げた。昨年度3月9日に2回目の会議を行った。目的としては、先を見据え、認定こども園を公立としたときに、幼稚園、保育園それぞれの現場で、今まで違う畑でやってきた職員同士がお互いを知り、お互いを理解していくための準備と考えている。お互いが疑問に思っていることを出し合いながら、今年度からそれぞれ

の園で話し合った内容について説明していく。例えば、保育園職員からは、夏休み等の長期休業がないので、幼稚園では長期休業期間中どのような取り組みをされているのか、という質問があった。幼稚園職員からは、保育園は時間によっていろいろな登園パターンがあるので、どのような対応をしているのか、という質問があった。共通の話題としては、指導計画について、それぞれどのように取り組み、作成しているのか、という話題があった。今まで、それぞれが違うということは分かっていたが、具体的にどう対応しているのか、このワーキンググループを通じて理解し、最終的に伊東市として目指すべきこども園のグランドデザインをまとめていきたい。令和5年度も開催していくので、ご承知おきいただきたい。

山下生涯学習課長：令和5年度生涯学習課主催の主な事業について報告する。

(山下生涯学習課長から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：幼児教育課の報告の中で、こども園に向けてのワーキンググループの報告があったが、すごく重要な意味を持つと思っている。それと、今年度、人事交流として保育園幼稚園で交流をしている職員がいると思うが、仕事をする中で感想や感じていることを出し合うことも大事だと思う。

鈴木幼児教育課長：委員ご指摘のとおり、このワーキングのプログラムに人事交流職員との意見交換を入れ、実際に働いている人の意見を聞くことも大変いい機会になるかと思う。そのような計画をしています。

委員：伊東小学校の関係で、先ほど市長との懇談会のときに、スクールバスの時間帯には、一般の車の送迎は基本的に禁止されているのだけれど、実際には来ているという話が出た。子どもの安全を考える中で、市長が、市役所のロータリーを利用することも案だとも話しており、その利用についてルールを決め

るべきだと思う。教育長も先ほど話していたが、怪我をしている子は正門までいいとか、その許可は電話をすればいいとか、である。そうでない子が一番多いとは思いますが、特に送迎が集中する朝について、ルール、運営をしていく必要があるのではないか。

杉山次長兼教育総務課長：基本的にロータリーはバス専用として、禁止としている。多分、市長がご覧になられたときに、たまたまバスと送迎車が重なってしまい良くなかった。それ以外の日は、職員も立っている中で、基本的にはパッシングしていない状態である。体育館横のスタディパーキングが空いていれば利用可としている。周辺道路は、初日は少し渋滞したと伺っているが、その後は自分も確認したが、渋滞するほどではない。当初、市の駐車場は使わないという約束でスタートしており、状況次第では、ルールについて考える必要があるかなと思う。

高橋教育長：市長との懇談では、例えば怪我をした子や特別な配慮が必要な子は、玄関まで送り迎えをした方が安全ではないか、という意見があった。それは学校と保護者の話になると思う。そして、佛現寺側のロータリーを使うという話になった際、市役所のルールもあるので聞いてみないと分からないと委員に話したところ、市長が配慮のスタンスは持っていると言われていた。多分、今後また話題になるのかと思う。ご理解いただきたいのは、管理が教育委員会ではなく、資産経営課なので、急にできるものではない。子どもの安全安心を確保できるよう、市長も考えているので、すり合わせをしていきたい。

浜野教育部長：当然、雨が降れば車も増えるなど、いろいろな想定もできるので、庁舎管理担当と柔軟な対応で、安全第一で対応していきたい。また気付いたことがあったら、改めておっしゃっていただきたい。

委員：バスの関係で、下校の時はバスに乗らない、車でお迎えの家庭もあると

思うが、その時もスタディパーキングで保護者が待機して、そこに行きなさいという形にしているのか。

杉山次長兼教育総務課長：基本はそういった形になっている。

委員：そうすると、現状、中庭が使えないので、職員用駐車場やバスの近くを通っていくのか。

杉山次長兼教育総務課長：今のところそうになっている。

委員：雨の日だと徒歩で帰らず、送迎がたくさん来ることも考えられる。事故が起きなければよいが。事故が起きないことが一番である。停めきれなければ、市役所駐車場にも停めてしまいますよね。

山下生涯学習課長：スタディパーキング2は、通級指導教室や特別支援学級のお子さん送迎専用としており、一般の方は使わない。市役所駐車場は恐らく、下校時間は市役所でも会議等が開かれる時間帯であり、担当課としては許可しにくいのではないかと。

高橋教育長：部長がお話したとおり、柔軟な対応を考えていきたい。まだ、雨のシーズンではないので、また様子を見ながら、危険なことは絶対に改善しないといけないと思っているので、対応していきたい。また、見かける機会があれば、教えていただきたい。よろしくお願いいたします。

高橋教育長：その他全般的に、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：本日は、市長との意見交換でも積極的に意見を出していただいた。出た意見は、各課長に伝えるようにします。例えば、ゆっくり進むことも大切だという意見や、温かい人間関係を作ることが大切だという話など、学校現場には各課長から伝えていきたい。

高橋教育長：以上で伊東市教育委員会4月定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高橋 雄幸

委 員 村上 恵宏

書 記 松岡 翔太